

特集

歩み続ける「富士見町」

～町民の皆様と共に～



昭和43年7月に創刊号が発行された「広報ふじみ」が、今月号で500号となりました。これまで、町の施策や制度、各種大会やイベント情報、そして子どもたちの笑顔や、家族の絆などお伝えしてきました。今月は500号記念として、今までの「広報ふじみ」が時代の流れと共に重ねてきた姿を振り返ります。



100号

昭和53年7月10日発行
B5判1色刷り(表紙のみカラー) 10ページ

特集/「私たちが夢見る富士見町」として、町内6年生8名が当時の三井春富町長を囲み、座談会をした時の様子を掲載しています。



創刊号

昭和43年7月1日発行
B5判1色刷り 4ページ

町の行政を進めていく上で、昭和36年に事務改善を行い、その後の各係業務内容を掲載。写真は、一里塚(御射山神戸)

広報の歩み

広報誌の役割

「広報」の語源は「Public Relations」(パブリック・リレーションズ)で、直訳すると「大衆・公衆との関係」になります。

行政広報の場合は、住民の皆様と行政とが、より良い関係を築いていくことが目的になります。

また、広報誌は行政からの一方的な情報の提供だけではなく、皆様からの意見を取り入れた「双方向性の広報誌」であることが求められます。

広報づくりで大切なことは、「読まれること」「家庭内で話題になること」「考える素材を提供すること」「行動を起こさせること」と思います。

共有する

より良い町づくりを進めるためには、住民の皆様と行政の情報共有が必要不可欠であり、そのための手段として「広報ふじみ」の果たす役割は大きなものとなります。

「広報ふじみ」により発信した情報が、正確に皆様へ伝わる。それは皆様と行政が情報を共有したということです。同じ情報を持ち、同じ意識を共有することで、対等な関係ができます。

住民一人当たり
歳入 32万円
歳出 31万円

住み良いまち づくりのために

昭和60年度 富士見町一般会計決算報告

昭和60年度 歳入 46億8,212万円
歳出 45億3,825万円

農林水産費 14,387万円
土木費
民生費
教育費

広報 ふじみ 611月号 NO.200

昭和61年11月1日発行
B5判1色刷り 12ページ

シートベルトを
忘れません

200号

昭和61年11月1日発行
B5判1色刷り 12ページ

昭和60年度一般会計決算報告が掲載されました。歳入46億8,212万円、歳出45億3,825万円、町民一人あたりは歳入32万円、歳出31万円でした。

表紙の写真は「シリーズ人間」と題し、毎月各集落から選ばれた方が掲載されています。

42年の歴史が生まれ変わる

富士見高原中学校全面改築に向けて

広報 ふじみ 7年3月号 NO.300

平成7年3月1日発行
A4判1色刷り 14ページ

300号

平成7年3月1日発行
A4判1色刷り 14ページ

特集／42年の歴史が生まれ変わる（富士見高原中学校全面改築に向けて）……昭和28年4月に18学級853名の生徒を迎え、開校してから42年間。この校舎で学んだ卒業生は8千人を超えました。新校舎の概要と工事計画などが掲載されています。

表紙の写真は、境保育園の卒園記念写真。

わたしたちの生活と市町村合併

「田の動きそのこと」

市町村合併の特長と合併後の課題

広報 ふじみ 7 2003

平成15年7月1日発行
A4判2色刷り 16ページ

400号

平成15年7月1日発行
A4判2色刷り 16ページ

「わたしたちの生活と市町村合併」と題して、諏訪地域6市町村合併の概要、財政措置などが掲載されました。この年12月に住民投票が行われ、投票率67.2%で合併反対数5千790票（有効投票数の67.4%）、賛成投票数2千805票（有効投票数の32.6%）でした。

表紙の写真は、消防ポンプ操法大会の様子。



富士見町には、先人から守られてきた豊かな自然が、たくさんあります。また、受け継がれてきた伝統文化もたくさんあります。さらには、人情味あふれる人が、たくさんいます。

そんな富士見町の魅力を探ることで、私たちの中に、町への愛着や誇りが生まれるのではないのでしょうか。

記念すべき「広報ふじみ」500号の発行は、節目であるとともに通過点でもあります。

「広報ふじみ」は、これからも町民の皆様が「この町に住んでいて良かった」と思えるような町の魅力を探り、皆様と共に歩み続けます。

町の魅力を探る

このことは、最近よく耳にする「協働の町づくり」の基本でもあります。「町づくり」の主役が、この町に住んでいる皆様一人ひとりであることは言うまでもありません。